



人類存亡の危機の中で

中央聖書神学校理事 木村幸広

今、わたしたちは人類存亡の危機が肌で感じられる時代に生きています。そうした中で、福音を宣教するわたしたちはどのようなあるべきなのでしょう。人間の欲望と、その充足の飽くなき追求のための技術開発、目の利益にのみとらわれた領土や資源の取り合い。生態系の破壊は進み、もはや後戻りが困難なところにかかっています。しかし他方では、地球環境の改善の努力がなされていないわけではありません。例えば、1秒間にテニスコート5面分が緑化されています。しかしそれは消

いぶき Vol. 35



失スピードの4分の1に過ぎません。残念ながら、地球環境改善のスピードより破壊のスピードの方がはるかに速く、危機は深まる一方です。わたしたちは、このような危機的状況の中にキリストの福音の宣教師として遣わされています。福音は、終末においてキリストの再臨、新天地の到来、そして神の国の完成を約束しています。しかし、ここに軸足を置いて語るだけでは、世の現実から遊離したメッセージになりかねません。聖書には天地万物の始原において、「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった」(創世記一章二節、新共同訳)とあり、人に對し、「地を従わせよ...生き物をすべて支配せよ」(創世記一章二八節)と命じておられます。しかし、ここに軸足を置いて地球環境の正しい管理と改善を叫ぶだけでは福音の香りを失い、この世のエコ活動の中に埋没してしまいます。故に、始原と終末の両方にしつ

静心

中央聖書神学校 2年 平松契

モーセがホレブの山で神の召しを受けた時に言った言葉。「わたしは、いったい何者でしょう。」私もCBCに入学して以来何度何度もこの言葉を神に問うてきた。しかし「わたしは必ずあなたと共にいる」とモーセに約束した神は、愚かでありながら「わたし」ではなく、有る者であると言われる神、万物の主である「わたし」に目を向けなさいと何度も語って下さる。この力強い神の約束に励まされて、今日も全力で神の為に生きていきたい。



学事往來

【運営委員会関係】
2007年
10月26日、11月6日
12月10日
2008年
1月21日、2月19日、3月3日、
4月1日、5月27日
【学校理事会関係】
3月5、6日
【冬期派遣】
2007年12月2日、1日16日
【卒業式】
3月4日 (説教者:土屋潔師)
【入学式】
4月1日 (説教者:菊山校長)
【聖別会】
4月1日 (説教者:安田眞師)
4月2日 (説教者:野川悦子師)

CBC NEWS
2008年 7月号

編集スタッフ
横山唯一 小石雅枝
毛利佐保
編集責任者 久保田 潔
事務局 中央聖書神学校

後援会入会のお願い

ペンテコステは皆さまにとって豊かな御霊のお取り扱いの時であったことでしょう。CBCにおいては、新人生も学びの態勢が整ってまいりました。やがて伝道牧会の第一線に送り出される神学生、その学生達の学びと訓練に力を注がれる諸先生方のお働きには、心からの感謝を捧げます。教団、いや、日本宣教の鍵はCBCにあるとさえ言えるでしょう。現在、CBCには通信科も設置され、献身者の門戸が広げられました。それに伴い、経済的な必要も更に増して参ります。その必要の一端を一緒に担わせて頂くことができれば幸いです。皆さまからの後援会入会への申し込みをお待ちしております！

後援会会長 多田睦夫

☆後援会入会要請
個人会員 一口 年5千円
法人会員 一口 年1万円
*連絡は、中央聖書神学校
後援会宛にお願いいたします。

編集後記

主の導きにより中央聖書神学校に入学することができ、日々充実した学びと訓練の時を与えられていることを感謝しています。新聞部に配属していただき、CBCニュースの制作に関われるようになった事は、他教団出身の私にとって大変な恵みです。この活動を通してCBCがアッセンブリー教団の先生方、兄弟の皆様方のお祈りと尊い献金によって支えられていることを深く知ることができました。これからも主と皆様への感謝の気持ちをもって制作に関わっていききたいと思います。(毛利佐保)

中央聖書神学校

ATA認定校 校長 菊山和夫
入学資格: 高卒以上、召命の確信がある者
【早期願書受付日】 2008年10月28日(火)
【早期入学試験日】 2008年11月4日(火)
【願書受付日】 2008年2月10日(火)
【入学試験日】 2009年2月17日(火)
【オープンキャンパス】 2008年9月15日(月)
本校・通信科 〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
関東分校 TEL 03-3918-4925 / FAX 03-3918-4064
関西分校 〒663-8184 西宮市鳴尾町1-10-7
TEL/FAX 0798-41-4428
<http://www.cbc-j.ac.jp/>

献金によるお支えを心より感謝申し上げます。 2007年10月～2008年3月献金者

一般献金

【団体・教会】 横須賀キリスト教会
アッセンブリー宣教師団 練馬キリスト教会
中央聖書神学校 後援会 【個人】
関東東北教区 北野耕一師
嘉手納アッセンブリー教会 大坂太郎師
熊本聖書教会 立石ゆり師
平野キリスト教会

ダビデの石献金

【関東東北教区】 大島キリスト教会
狭山キリスト教会
中央福音教会
神召福音教会
【関東南西教区】 大船神召キリスト教会
武蔵野基督教会
杉田キリスト教会
川崎中央福音教会
【東海教区】 天塚基督教会
【関西教区】 鳴尾キリスト福音教会
尾崎キリスト教会
南紀キリスト教会
【四国教区】 中村福音キリスト教会
高知聖書教会
【九州教区】 佐伯聖書キリスト教会

2008年度中央聖書神学校入学式

2008年4月1日(火)、中央聖書神学校チャペルにて本校・通信科合同の入学式が行われました。今年から希望の通信科も始まり、希望に満ちた入学式となりました。また本校では、2日、3日と行われた聖別会、全校断食にて聖霊様の臨在の中で祈り、献身の思いを新たにす恵みの時が与えられました。

新入学生氏名 (出身教会)

本校生

杉本 茂謙 (千葉福音キリスト教会)
立木 秀和 (博多ニューライフ伝道所)
森下 真理子 (三木アガペー教会)
毛利 佐保 (日本基督教団 亀有教会)

通信科

木内 清美 (松任キリスト教会)
櫻井 寿子 (小岩栄光キリスト教会)
佐藤 誠 (武蔵野基督教會)
野中 美幾子 (新松戸リバイバル教会)
正岡 いづみ (八王子基督教會)
藪内 裕子 (藤沢福音キリスト教会)
米田 秀人 (金沢基督教會)

関西分校

平松 若樹 (和泉神愛キリスト教会)



1年生(本校生) 献身の証



杉本 茂謙
(千葉福音
キリスト教会)

私は、4年前に救われました。その時に、喜びと共に感じたことは、世の中には、神様の救いを必要としている人がもつと沢山いるに違いないということでした。より多くの人に福音を伝えなければならぬ。主に用いられたい。主にすべてをおさげしたい。と強く感じました。しかし、献身への不安はそれ以上に大きなものでした。

全国聖会の時、献身の招きの中で、神様は私に語りかけてくださいました。
「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。」(イザヤ四十一章一〇節)
不安はすべて吹き飛ばされ、私は召命を確信しました。

この与えられた献身の道を主に感謝し、ただ主を見上げて歩んでゆきたいと思ひます。



立木 秀和
(博多ニュー
ライフ伝道所)

私は未信者の家庭でクリスチャンになり、2年後に、献身したい旨を告白しました。以来20年もの間、私は神様からの召命を祈って待ちました。

昨年のある日、学びの為に神学校に行くべきか祈ったところ、「今」という言葉と共に御言葉が示されたのです。
「立ちなさい。さあ、ここから行くのです。」(ヨハネ一四章三二節)

私は、具体的な進路についても導きを求めました。牧師を指すべきか祈った時、また御言葉が示されました。

「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている。」(マルコ二〇章四九節)「主がお入用なのです。」(ルカ一九章三四節)

イエス様が命をかけて人々に歩み寄り、愛してくださったように、私も同じ愛で人々に歩み寄り、福音を伝えていきたいです。

る場合にも前進したいと願っています。

峯岸 邦子 師

溝ノ口キリスト教会

主の御名を賛美します。まず、5年間の神学校生活が無事に終えた事を主に感謝すると共に、多くの諸先生方、教会の兄弟の祈りに支えられました事を心から感謝致します。卒業式から伝道所開所式、更に新しい伝道所での礼拝と、毎日を慌ただしい日々の中で暮らしています。自宅と伝道所を往復する生活も随分と慣れてきました。テナントの2階が伝道所となつていますので、地域の方達に新しい教会が出来た事をお知らせする事が当面の働きです。先日1枚のトラクトで1人の女性が導かれました。その方が続けて来られるようにお祈り下さい。これから働きが実りあるものとなるように、引き続きお祈りを願ひ致します。

北陸キヤラバンの恵み

中央聖書神学校 3年
久保田 顕

ハレルヤ、主の御名を賛美致します。2008年3月15、23日まで、北陸教区の10箇所の教会を巡回させていただきました。私たち神学生を受け入れていただき、奉仕する場を与えてくださった北陸教区の皆様に感謝致します。この巡回で受けた恵みを、お分かちしたいと思ひます。

私が最も学びを得て、神様からの良き教訓として与えられた恵みは「仕える」ということです。私が巡回に行く前に立てていた計画の一つに「各教会の先生方の牧会体験談をお聞きすることがありました。そして、その計画が実現に至り、それぞれの教会の先生方からの貴重なお話を聞いたことは、私にとって大きな財産となりました。全ての先生方は「神様に仕える喜び」を力強く語ってくださいました。現在、牧会されています。

北陸教区の教会

(訪問教会は名称に下線・奉仕日)



巡回期間: 2008年3月15日(土)

~3月23日(日)

引率教師: 久保田潔師(前半)

白石信之師(後半)

参加学生: 下方悟、田村敬子、藤田豊樹

久保田顕、中川百合、横山唯一

2007年度卒業生

近況と祈禱課題

今年の3月にCBCを卒業され、それぞれの教会に派遣された5名の先輩の先生方に、近況と祈りの課題をお伺いしました。



(左より)北澤師、川上師、峯岸師、柴崎師、武石師

川上 基枝師

仙台神召基督教会

いつもお祈り下さり、ありがとうございます。神様によって、仙台神召キリスト教会に遣わされて、数ヶ月が過ぎました。日々祈り、神様から頂く力と勢いによって、福音を大胆に語る事ができ、人に仕える者へと創りかえられ続けています。今、「福音を運ぶことが、私の喜びです。」と証しできる日々が、とても幸せです！祈りの声を聞き入れ、心に留めて下さる神様に、力と勢いをさらに求めています。仙台的地においてなされますように、お祈りください。よろしくお願い致します。

北澤 成弘師

北見神愛キリスト教会

私にとって北海道の北見の地は初めてですが、毎日が充実して恵まれています。全国諸教会の

先生方や兄弟の祈りに支えられていることを覚えて感謝しています。教会員1名からのスタートですから、共に礼拝を捧げる魂が導かれるよう祈り求めています。教会案内トラクトも完成したので毎日配布し、今後はホームページも作成する予定です。また8月下旬には特別伝道会も予定しています。北見市は約12万5千人の人口ですが10以上の教会がある程、キリスト教に対して開けている土地です。神様の救いの業が起こされることを期待しています。

柴崎 めぐみ師

福山キリスト伝道所

福山キリスト伝道所は、広島県福山市にあります。近くに山があり、瀬戸内海にも、車を走らせれば、15分ほどでつきます。自然に囲まれたとても豊かな所です。教会の隣には、保育園、すぐ近くには高校と教会の周りには沢山の人が行き来しています。これからは、教会の信徒の方と一緒に力を合わせて、地域に根ざした伝道をして行きたいと願っています。毎週の礼拝に加え、日曜学校、手話礼拝、水曜日は祈り会を行っています。今神様に与えられているもの、出来ている事に感謝しつつ、進んで行きたいと思っています。

武石 喜光師

杉田キリスト教会

2008年3月4日に主と多くの教会の祈りと助けによって卒業し、杉田キリスト教会に派遣となりました。母教会とはいえず、今までとは違う立場になり、教会の信徒の方々が良き理解者になつて下さっています。神学校の3年間の学びが、何一つ無駄ではなく、教師の先生方や同僚学生達との学びや交わりがすべて生かされています。様々な奉仕を通して、祈られる大切さ、教えられる大切さ、喜んで仕える大切さを杉田の牧師夫妻や兄弟姉妹から日々、学んでいます。これからは主のために、いかな

しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。遭わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。

(ローマ一〇章二四、一五節)

幼稚園で勤め、「ここで子供たちに福音を伝えることが私に与えられた働きなのかもしれない。」と、自分勝手に考えていました。

しかし、様々な出来事を通して「神様の愛と救いを、伝えたい。何より、そのことのために私を用いてください。」と、祈り始めました。その後、献身へ進むことを妨げていた、不信仰な思い、状況が変えられていきました。神様が、私のような者に声をかけ、主の働き人として、訓練し、整え、用いてくださると信じ、主の声に応えていきたいと思っております。



森下 真理子
(三木アガベ)
教会

20年前にクリスチャンホームで育った夫と結婚し、夫の母教会であった日本基督教団弓町本郷教会に息子と共に通いました。しかし私の罪深い思いが邪魔をして、12年間イエスを信じる事ができませんでした。亀有に転居した時「もう教会に行かなくて済むんだ！」と内心喜びました。

ところが不思議な主の導きにより亀有教会でゴスペルクワイヤーのご奉仕をすることになり、イエス様から逃げ続けていた私を憐れみ、離さずにいてくださった主の深い「愛」にやつと気づき、受洗しました。

まもなく驚くような聖霊体験をし「世の人々に救いの道を、主の恵みの中で生きる幸せを伝えたい。」という献身の思いが与えられました。その後亀有教会の私設神学校で学び、仕えてきましたが、献身者に必要な学びと訓練が足りないことを思い知らされました。中央聖書神学校はこのような私を受け入れてくださいました。日々感謝して、忠実な学生生活を送りたいと思います。



毛利 佐保
(日本基督教団)
亀有教会

4月2日(水) 聖別会



4月1日(火) 本校・通信科
合同の歓迎昼食会



後列右から
米田兄
藪内姉
正岡姉
毛利姉
野中姉
佐藤兄
前列右から
杉本兄
立木兄
桜井姉
木内姉
森下姉